

# 愛犬と地図読み登山

## 飯能 多峯主山・天覧山



2026.2.14

登山ガイド 鷺尾 太輔

# 1.地図読みの大切さ



**\* 地図記号などで植生・景観  
が予想できる！**

**\* 等高線によって地形が把握  
できる！**

**→事前にどんな場所を歩くか  
コースをシュミレーション  
(言語化) することが大切**

## 2.紙地図と地図アプリ



登山地図や地図アプリは全て  
国土地理院の地形図を使用

### \* 紙の地図

広範囲を網羅している

コース全体を俯瞰的に把握

### \* 地図アプリ

GPSと連動している

現在地を正確に表示・共有

## \* 紙の地図の利点と**弱点**

現在地だけでなくその先の地形がどうなっているかも把握できる

代替ルートも検討しやすい

**文字や記号が小さく見難い**

## \* 地図アプリの利点と**弱点**

こまめに現在地を確認する事で道間違いを防止できる

登山計画書を事前にWEBで提出・共有できる

**スマホのバッテリー消耗**

**圏外エリアで位置共有不能**

# 3.紙地図の読み方



等高線（茶色い線）を読んで  
地形を立体的に把握する事が  
地図読みに必要な技術の8割を  
占めるといって過言ではない  
アプリも含めて登山に適した  
縮尺の地図は25000分の1

10m間隔で主曲線（細線）  
50m間隔で計曲線（太線）



**\* 地形A：ピーク（山頂）**

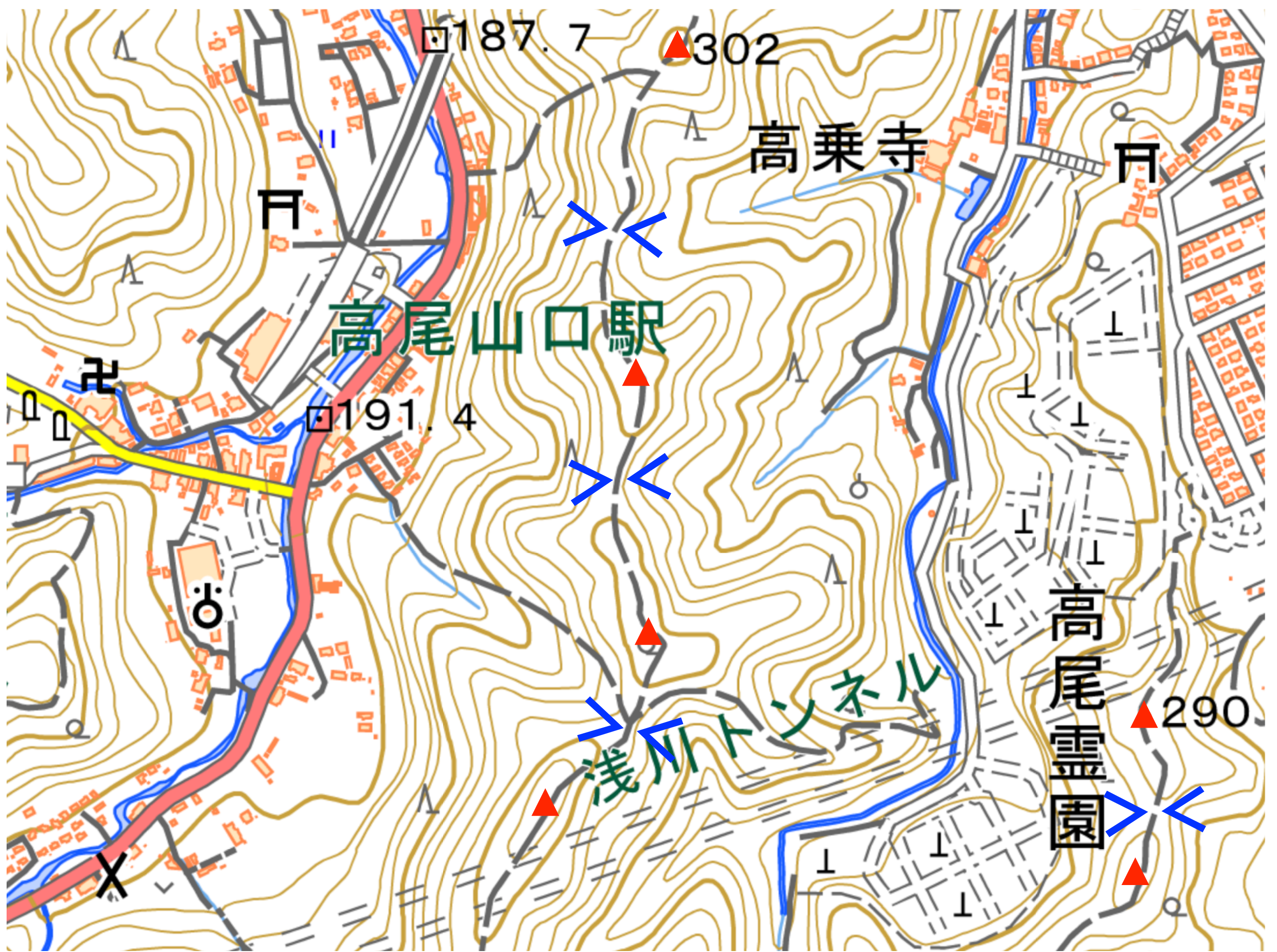
等高線が輪のように1周して  
閉じているところ

その輪に囲まれた部分より  
高い場所はないためピーク

輪が大きければ広い山頂

輪が小さければ狭い山頂

ピークにいると自分の周囲  
が全方位低く見える



**\* 地形B：コル（鞍部）**

ピークとピークの間

ピークの等高線が膨らんで  
いるのでコルではくびれる

両側のピークの雨が溜まる

両側のピークの風が集まる

侵食活動はコルから始まる

コルにいると下り切って

次のピークの登りが見える



## \* 地形C：尾根

標高が高い方から低い方へ  
等高線が指（半島）の様に  
張り出しているところ

始まりはピーク

標高が高い方から低い方へ  
枝分かれする特性がある

尾根にいると橋の上の様に  
自分の両側が低く見える



## \* 地形D：谷（沢）

標高が低い方から高い方へ  
等高線が指（半島）の様に  
張り出しているところ

始まりはコル

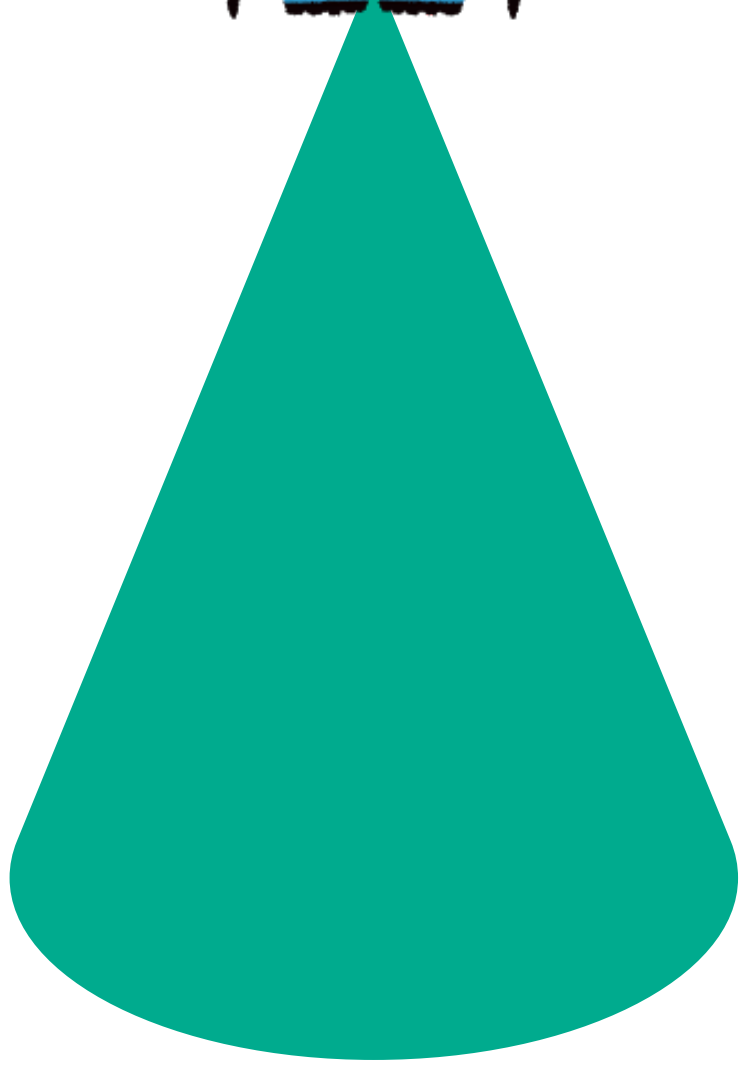
標高が低い方から高い方へ  
枝分かれする特性がある

谷にいると文字通り谷底で  
自分の両側が高く見える

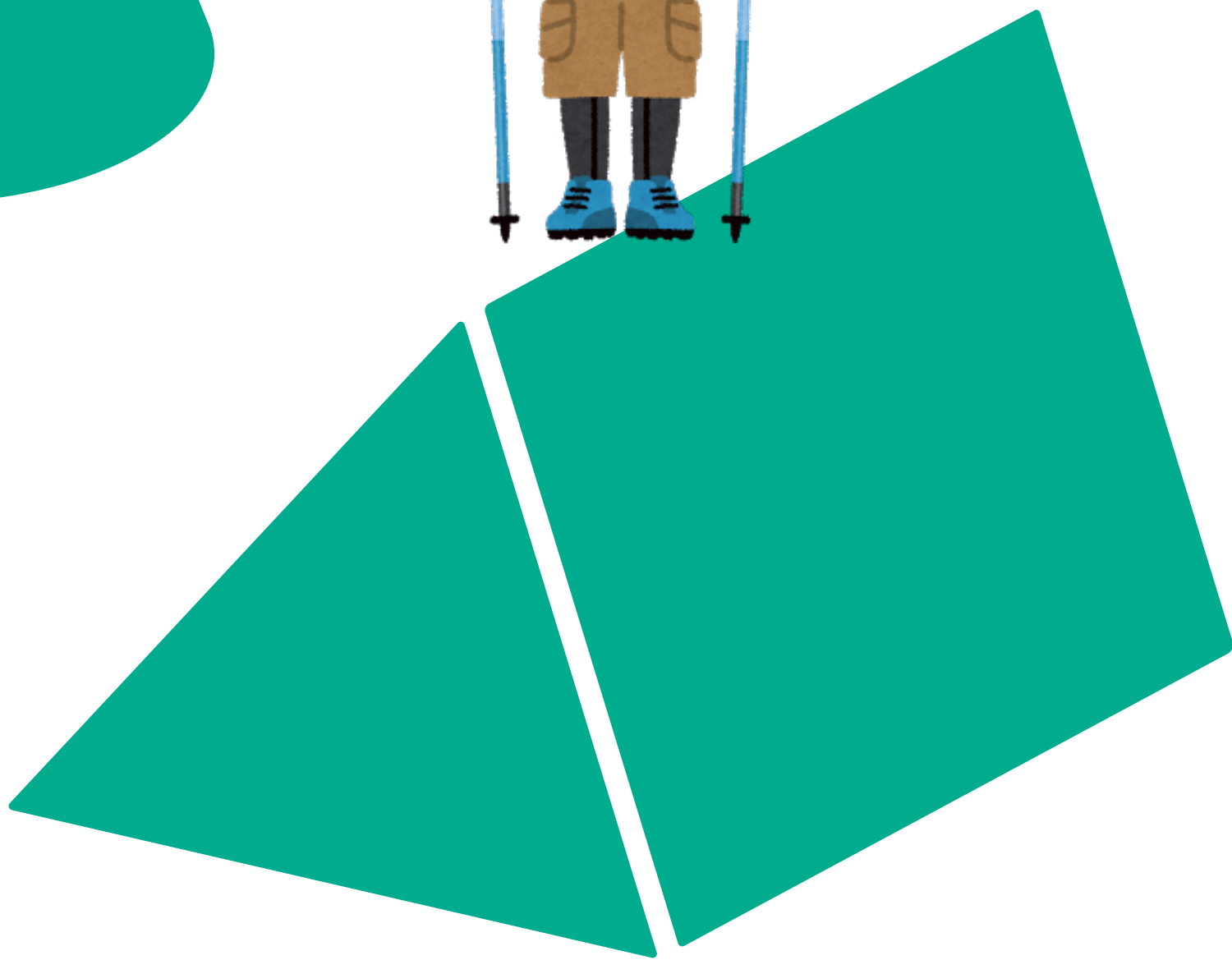
ピーク



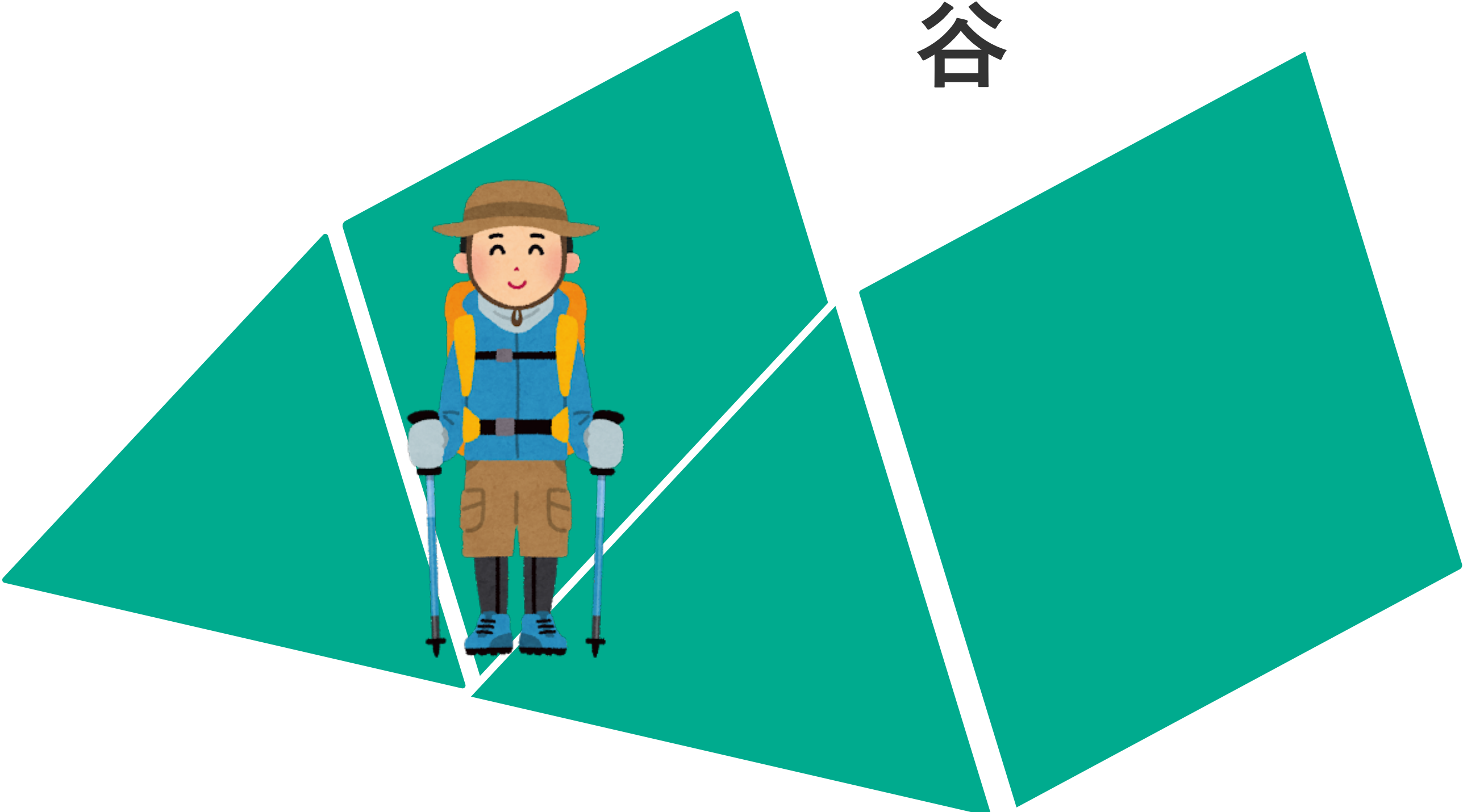
コル



尾根



谷



# 4.地図アプリの使い方



YAMAP・ヤマレコなど

多くのアプリはキャッシュ型  
予め地図のDLが必要

予定ルートを結んで登山計画  
にしておく（＝登山計画書）

緊急時に最も大切なのが座標  
（緯度経度でわかる現在地）



ルートを外れの警告機能あり  
これを設定しておくで安心

設定していなくても登山道を  
外れたら早めに気づくために

- ・ 足元の落葉や雑草が多い
- ・ 周囲の藪が深くなる

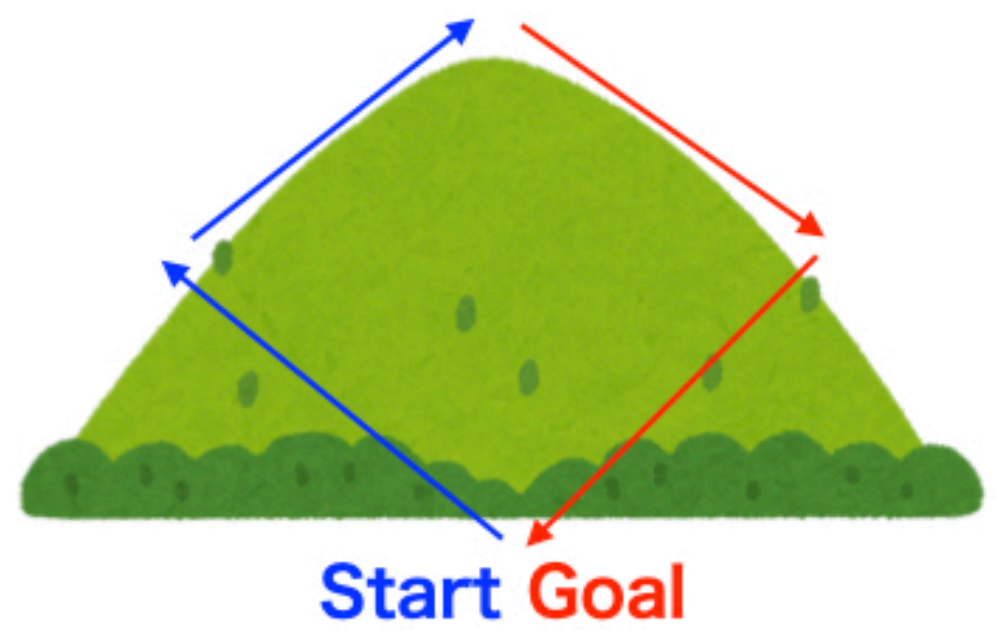
アプリの軌跡に忠実に引返す  
事で予定ルートに復帰可能

# 5.安全なルートへの考え方

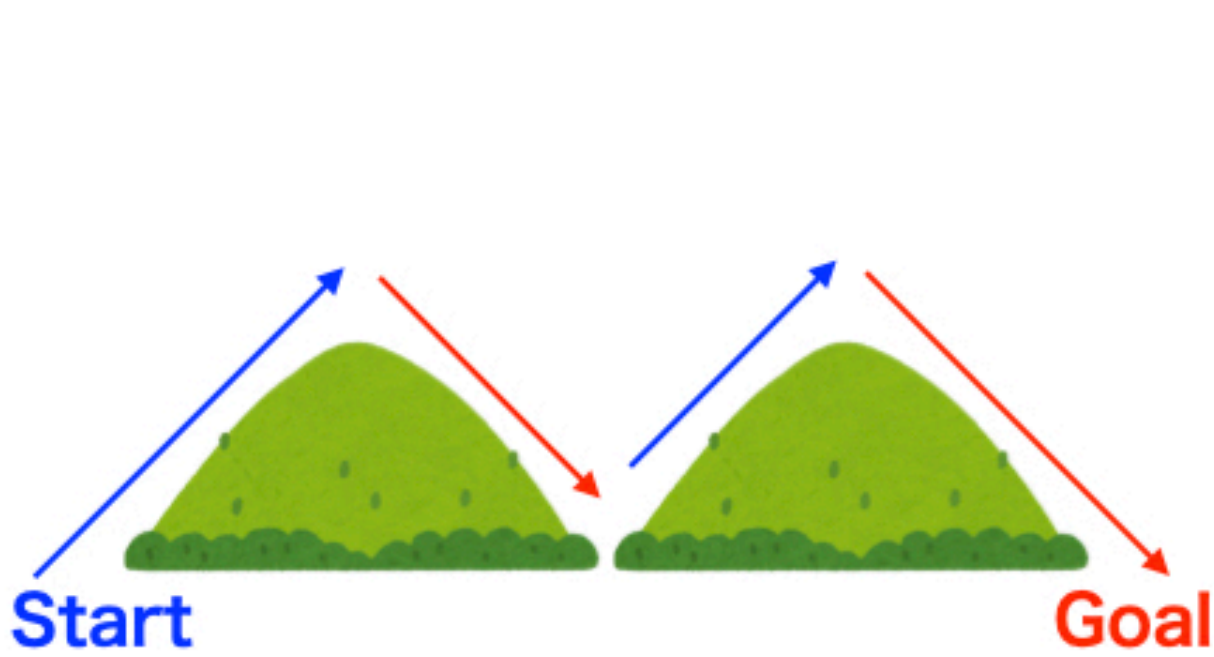
往復型



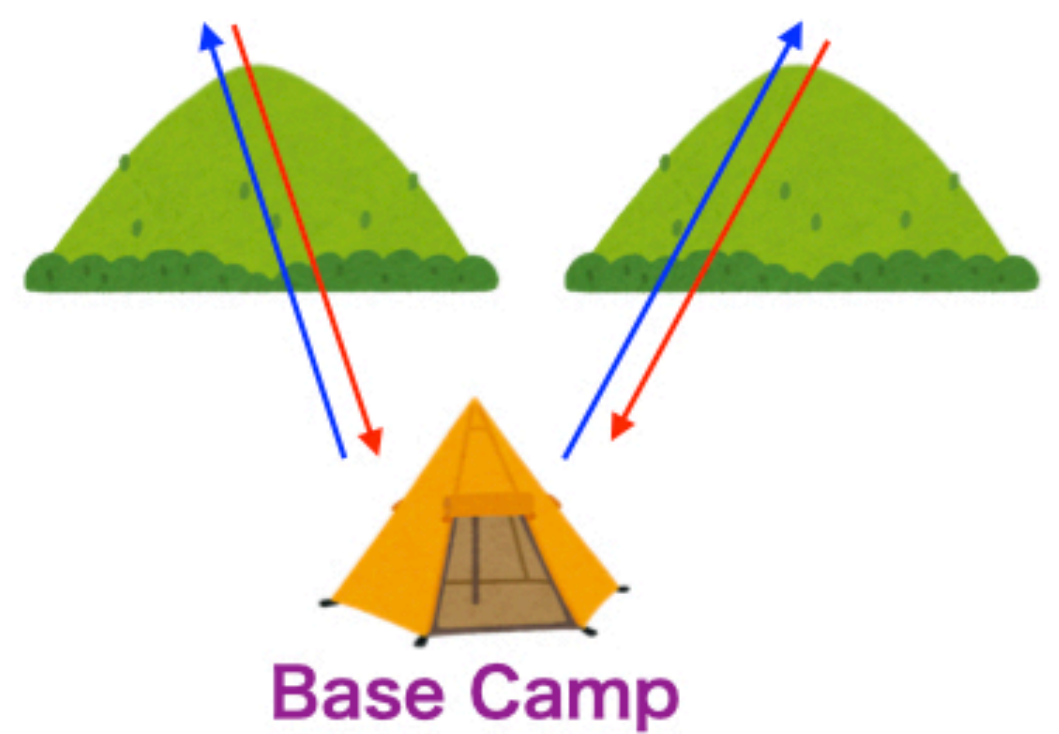
周回型



縦走型



ベースキャンプ型



\* クルマ利用の場合…

往復・周回型が便利

\* 公共交通機関利用の場合…

縦走型も可能（達成感UP）

\* 宿泊する場合…

ベースキャンプ型も可能

（複数の山へ登れる）



## ルートが通る地形と天候⚠

### \* 沢沿い

降水時や大雨後の増水

### \* 尾根沿い

風が強い事による低体温症

周囲より高い事による落雷

### \* 斜面の方角

降雪後や低温による凍結